

2018年3月23日  
株式会社 住金システム建築  
代表取締役社長 生井 敏夫

### 関東3地区で受注好調

関東第1営業チーム（宇野チーム長）、関東第2営業チーム（村中チーム長）、関東第3営業チーム（津之浦チーム長）の関東3地区の受注が好調である。今期の通期受注高は3地区合計で73億円に達し、過去最高となる見込みである。

現在、東京本社に7名、大宮と水戸に各2名の営業専任者を配置し、地域密着型の営業展開を推進している。受注が好調の背景として、当社は、基礎を含め、発注者側が初期段階で非常に精度の高いコストプランニングが出来ること、一般工法に対して低価格で短工期であること、元請ゼネコンの監督員不足や現場の職人不足が更に深刻化し、当社の商品のニーズが高まってきたことなどが挙げられる。

関東3地区の今期の成約棟数は80棟。内、用途別では、工場32棟、倉庫33棟、事務所4棟、店舗6棟、その他5棟。商品別ではティオ30棟、トレオ49棟、ラフィット1棟。1棟当たりの平均床面積は1,967㎡であった。

全国の通期受注高は220億円台に達し、過去最高を更新する見込みである（前期205億円）。主たる販売先である「住金システム建築会」の2月末の会員数は、前期末より79社増え1,488社となった。内、関東3地区は23社増え、337社である。



物件名／「イオンタウン君津新築工事」 建設地／千葉県君津市  
用途／店舗 商品／トレオ 平屋／施工床面積8,660㎡  
建築主／イオン株式会社様 設計・施工／株式会社塩浜工業様  
特記／基礎システム、残土処分量の少なさの採用による低価格・短工期が評価された。